

プラセンタ注射

Placenta

プラセンタって、どういうもの？

プラセンタとは・・・

プラセンタ (Placenta) とは哺乳動物の「胎盤」のことですが、医療や医薬品の世界では、この英語の呼び名の方が広く使われています。

胎盤は、母親の子宮の中に着床した受精卵が胎児として大きく育っていくとき、母体と赤ちゃんをつなぐ「臨時の臓器」としてつくられ、出産が終わるまで働き続けます。

この胎盤に、胎児は「へその緒」で結ばれ、成育するのに必要な全ての栄養や酸素を受け取り、反対に排泄物を母体に渡しながら、どんどん成長していきます。

胎盤の働きはこれだけでなく、ホルモンや生理活性物質、各種の成長因子など全てを胎児に供給し、さらに毒物や異物の侵入から胎児を守る免疫機能も果たすのです。

参考資料：プラセンタ療法をご存知ですか？ 日本胎盤臨床医学会

リスクと副作用について

リスク：内出血

プラセンタ注射は、注射器を用いるため、細い血管に当たってしまい内出血を引き起こしてしまうリスクがあります。

本製剤は生体由来の原料を使用しているため、現在未知の病原体の感染は完全に否定できません。

副作用：下記症状が出る場合があります

過敏症・頭痛・肝機能障害・献血ができなくなります。

費用（自由診療）

初診・再診に関わらず、1100円／本です。予約は必要ありません。

当院では適切な用量・用法を検討し、無理なく正しい治療を実施しています。

お気軽にご相談ください。



医療法人 前橋北病院